一関市の学力・学習状況の現状

（令和元年度岩手県学習定着度状況調査の結果より）

一関市教育委員会

調査実施日・調査対象　令和元年10月２日（水）小学校第５学年、中学校第２学年

令和元年度調査の平均正答率　（英語のみ1,000点満点）

	小５				中２				
	国語	社会	算数	理科	国語	社会	数学	理科	英語
一関市	61.4	70.6	55.4	66.4	60.6	50.8	42.9	38.7	624.3
岩手県	60.7	70.7	56	66.1	60.6	52.2	42.9	41.9	632.4
県比較	0.7	-0.1	-0.6	0.3	0	-1.4	0	-3.2	−8.1
自校									

・小学校においては、国語と理科で県の平均正答率を上回り、中学校においては、国語と数学が県平均正答率と同程度という結果でした。
※つまずきのポイントを捉え、課題に対する補充指導等を行う必要があります。

各校の実践紹介

※算数・数学において高い成果を出している学校の学力向上ポイント県の正答率を100とした場合、110以上の学校

全校体制での授業実践（Ａ小学校）

板書と関連づけたノート作りを行うことで学習過程を明確にした。また、既習事項の想起で見通しをもたせることで、自力解決につなげる授業実践を行った。

既習事項の定着を図る時間の確保（Ｂ小学校）

年３回の国・算チャレンジテスト実施時期までに、既習事項と各種調査で課題が見られた問題の類似問題を作成し、取り組む。

算数コーナー（Ｃ小学校）

「お手本算数ノート」の掲示やリレーノートの閲覧を自由にした。「算数クイズ」により、算数への興味・関心を高めた。

保護者との連携（Ｄ小学校）

家庭学習として「家庭音読」や「週末読書」を行う。また「日記」や「作文」「視写」を家庭学習に取り入れていく。

授業時間内での教師の説明（Ｅ中学校）

教科の特性にもよるが、教師の説明を授業説明の３割以内にとどめ、生徒の思考の場や習熟の時間を確保している。

生徒の実態変容の把握（Ｆ中学校）

教師の授業改善チェックシートや生徒の学習アンケートを実施。生徒の実態や変容を踏まえた授業改善に継続して取り組む。

実現に向けて一丸となる取組（Ｇ中学校）

「確かな学び・豊かな学び実現プラン」を年度当初、全員で確認。年度途中に複数回アンケートを実施し、中間評価を共有する。

授業改善の視点から

（児童生徒質問紙より）

※肯定回答は「よく分かる」と「どちらかといえば分かる」の合計

【小5】授業の内容はよく分かりますか（%）

		よく分かる	どちらかといえば、分かる	どちらかといえば、分からない	分からない	R1肯定回答	H30肯定回答
(32)国語	一関市	38	49	9	3	87%	89%
	県	41	48	8	3	89%	90%
(36)算数	一関市	43	43	11	4	86%	86%
	県	46	39	11	4	85%	87%
(41)社会	一関市	44	43	10	3	87%	87%
	県	48	40	9	3	88%	90%
(45)理科	一関市	59	34	4	3	93% ↑	92%
	県	63	30	4	2	93%	94%

【中2】授業の内容はよく分かりますか（%）

		よく分かる	どちらかといえば、分かる	どちらかといえば、分からない	分からない	R1肯定回答	H30肯定回答
(31)国語	一関市	32	51	13	4	83%	85%
	県	33	53	12	3	86%	85%
(35)数学	一関市	32	43	18	7	75%	76%
	県	31	40	20	9	71%	72%
(40)社会	一関市	40	40	15	5	80%	80%
	県	42	43	12	4	85%	80%
(44)理科	一関市	27	49	19	6	76%	78%
	県	34	45	16	5	79%	80%
(48)英語	一関市	28	33	26	13	61% ↓	69%
	県	27	32	25	16	59%	69%

【県との比較】小学校の肯定回答は県とほぼ同様の結果。中学校は教科によりばらつきがあるが、数学は＋４Ｐ。

【H30との比較】小学校の肯定回答は県とほぼ同様の結果。理科は昨年度より肯定回答が上昇。中学校では昨年度と同様の結果の教科もあるが、英語は－８%。

【Ｒ１の回答より】中学校理科・数学では、４人に１人が、英語では10人に４人が「授業が分からない」と回答。

→分かる授業づくりを意識した授業改善が早急に望まれます。集中力を高める基礎力向上の取組をうまく取り入れながら授業に向かう姿勢を作らせましょう。

授業改善パンフレット
（市教委作成）
H31全国学調授業アイディア例
等を活用しましょう。

時間の使い方に関する項目

２時間以上のメディア視聴・使用時間

	小5			中2	
	テレビやビデオの視聴時間	テレビゲームの時間	携帯やスマホでの電話やメール、インターネット使用時間	テレビやビデオの視聴時間	携帯やスマホでの電話やメール、ゲーム、インターネット使用時間
R1一関市	54	28	9	54	43
R1岩手県	54	24	10	53	41
H30一関市	51	21	9	48	

【テレビやビデオの視聴時間】
▲　小・中学校ともに、昨年度よりは割合が高くなっている状況
【テレビゲームの時間】
▲　小学校では昨年度よりも割合が高く、県を上回っている状況
【携帯やスマホ等のインターネット使用時間】
○　小学校は昨年度と同様で、県を下回っている状況
▲　中学校では割合が高く、県を上回っている状況

→　工夫次第では、学習等への時間を生み出すことができます！

時間の使い方については、自分の生活時間を振り返らせる機会を設けることが大切です。また、携帯電話やスマートフォンを所持するリスクや、家庭のルール作りなど保護者懇談会や通信等で情報提供し、家庭での働きかけをお願いする必要があります。あわせて市のパンフレット「携帯電話・スマートフォンの取扱いについて」（平成31年４月配付）を再度ご活用願います。